

## 6次産業化 ～県内取組み事例～

第1次産業の衰退が続くなか、その対応策として「6次産業化」が注目を浴びている。6次産業化とは、第1次産業と第2次、第3次産業の連携・融合によって、地域の農林水産業の活性化を図るもので、一般的に第1次産業（農林水産業）×第2次産業（製造業）×第3次産業（商業・サービス）＝6次産業として表現されている。例えば、農業者が農産物を生産するだけでなく、その加工（食品加工）、更に販売（直売店、レストラン）まで行い、資源の有効活用を図るといったものであり、長崎県では「夢ファーム シュシュ」（大村市）がその成功例として名を馳せている。

農水省でも2010年12月には「6次産業化法」を制定し、農林水産業・農山漁村の有する農林水産物をはじめとした「資源」を食品産業等の様々な産業と連携して利活用し、新たな付加価値を生み出す地域ビジネスや新産業創出を推進し、6次産業化の市場規模を12年度から5年間で現行の3倍に当たる3兆円に拡大する目標を設定している。

まだ制定後1年を経過したところではあるが、「6次産業化法」に基づく「総合化事業計画」事業として九州では106件が既に認定されている。県別では、福岡県、宮崎県が26件、熊本県が22件と多く、本県では7件の認定となっている。

| 長崎県内の認定事業者      | 事業名                                      |
|-----------------|------------------------------------------|
| 九十九島漁業協同組合      | 地域の特産物である「煮干しいりこ」を利用した商品の加工・消費拡大・販売事業    |
| 壱岐市農業協同組合       | 離島における地元農畜産物の加工および直売所・インターネット等を利用した販売事業  |
| 株式会社大地のいのち      | ネギ類のカット加工による販売事業                         |
| 株式会社たらみファーム     | 独自農法で栽培したメロン・トマトで品質と安全性を訴求する高付加価値商品の開発販売 |
| 農事組合法人守山女性部加工組合 | 雲仙こぶ高菜を利用した商品の加工・販売事業                    |
| 株式会社若宮水産        | 壱岐産養殖アワビを利用した煮貝など高付加価値化商品の加工・販売事業        |
| 農事組合法人サンエスファーム  | 椎茸の風味・食感を活かしたスープ及びお菓子などの加工・販売事業          |

※認定を受けた場合のメリットとしては、融資や補助金などによる資金援助、6次産業プランナーによる総合的なサポートを受けたり、施設整備等の手続きが簡素化される。

このうち、守山女性部加工組合の取組みについて紹介する。

雲仙市の農事組合法人守山女性部加工組合では、同市吾妻町で長年大切に守り継がれてきた「雲仙こぶ高菜」を加工・販売し、6次産業化を目指している。

雲仙こぶ高菜は大きく成長すると茎（葉柄）に親指大のこぶができる珍しい形状の高菜で、シャキッとした独特の歯ざわりとおいしさが特徴である。戦後間もないころ吾妻町で栽培が始まったが、その後途絶え、原種はもはや無くなったと思われていた。ところが、2003年に自生している雲仙こぶ高菜やその種子が見つかったことから、生産者、加工関係者、島原農業改良普及センター、町などが一体となり「雲仙こぶ高菜再生プロジェクトチーム」を結成し、再生への取組みを開始した。



1987年からコンニャクや饅頭を生産するなど農産加工を手掛けている守山女性部加工組合は、この地元の野菜・雲仙こぶ高菜に注目し、栽培に乗り出し、漬け物への加工も手掛けることとなった。「いいものを食べよう、食べさせたい」との考えに基づき、雲仙こぶ高菜を栽培するにあたり、



まずは土づくりからこだわるなど、施肥、大きさなどでも細かい生産規定を策定し、この規定に沿わないものは販売しないほどの徹底ぶり、加工時においても生産時と同様に加工方法をマニュアル化し、平戸産の「釜炊きの塩」だけを使用するなど、こだわりを持って品質保持に努めてきている。

雲仙こぶ高菜の加工品は東京や大阪の百貨店でも販売されており、一般の高菜加工品の3倍の値がついている。これは、雲仙こぶ高菜が吾妻町の契約農家12軒だけで栽培されている希少な特産野菜であることや、生産・加工過程も徹底して管理されていることが評価されているからである。さらに、雲仙こぶ高菜は、05年「食の世界遺産」とも呼ばれるスローフード協会国際本部認定の「味の箱船計画＝アルカ（希少食材認定制度）」に日本の食材として初めて登録され、さらに、08年に同本部の最高位「プレシディオ（優良小規模生産者支援制度）」に日本で初めて認定されるなど評価は高まっており、今後の発展が期待される。



（橋口 不二郎）